

名古屋テレビ放送では、2003年に竣工した新社屋ビル内のA・Bスタジオの照明設備および昇降設備を改修。新設時から19年ぶりとなる今回の改修工事では、AスタジオのフルLED化と両スタジオのバックアップ機能の強化を実施。調光操作卓をはじめ、制御システムを重点的に改良し、使い勝手が良く、安全性・冗長性の高いスタジオ環境を実現しています。

愛知県、岐阜県、三重県の中京広域圏を放送対象地域とした名古屋テレビ放送は、1962年に名古屋放送として放送を開始。1987年の開局25周年を契機に現在の社名へ変更。2003年に愛称を「メ〜テレ」とし、6つのスタジオを備えた現在の新社屋が竣工しました。今回照明設備を更新したAスタジオでは朝の帯番組「ドデスカ!」と夕方の帯番組「アップ!」がそれぞれ生放送されています。



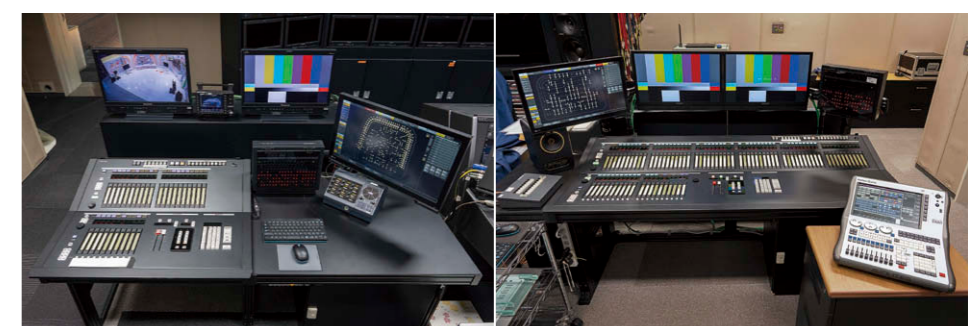
【物件概要】
所在地：愛知県名古屋市中区橋2-10-1
構造・規模：SRC造・地上8階・地下1階建て
スタジオ面積：Aスタジオ約320㎡/Bスタジオ約410㎡
 Horizont高さ：Aスタジオ約9m/Bスタジオ約9m
 施主：名古屋テレビ放送(株)
 設計・監理：(株)日建設計
 施工：清水建設(株)
 スタジオ照明設備および昇降設備/東芝ライテック(株)
 照明リニューアル完成：2022年2月



Aスタジオ 夕方の帯番組「アップ!」セット時。スタジオ左側に組まれたセットに対してLEDスポットライト①②、LEDブロードライト③をセッティング。



Aスタジオ 朝の帯番組「ドデスカ!」セット時。スタジオ右側に組まれたセットに対してLEDスポットライト①②、LEDブロードライト③をセッティングし、夕方の番組とのライティングを切り替え。



Aスタジオ調光操作卓⑥ ベルトフェーダを備えフルLED化したAスタジオの使い勝手を向上。 Bスタジオ調光操作卓⑦ スタジオ制御切替コネクタボックスの増設によりクロス運用が可能。

多層的に施されたバックアップ機能により、万一の際にも放送を止めない安全性・冗長性を強化。

今回のスタジオ照明設備および昇降設備の改修は、AスタジオのフルLED化と、AB両スタジオのバックアップ機能の強化を主眼としています。特にバックアップ機能については、撮影現場となるスタジオでの回路の選択性、調光操作卓のクロス運用、ネットワークのリング接続化など、幾重にも対策が施され、万一の際にも放送を止めることのない安全性・冗長性が強化されています。

Aスタジオでは、既設のトラスバトンを改良しDMXノード、イーサネット™のコネクタを増設。DMX、イーサネット™のどちらでも制御可能な環境と

したうえで、既設のハロゲン照明器具を、LEDスポットライト、LEDブロードライトに更新。従来に比べ大幅な消費電力の削減を可能にしました。また、昇降設備の安全性の強化により、安心して長く使用できるスタジオ環境を整えています。

Bスタジオは、2003年の新社屋竣工時からDMX回線を有しているため、今回は特注仕様となる調光操作卓や、制御盤の更新を実施し、さらにクロス運用制御機能を新たに導入。Aスタジオの調光操作卓からBスタジオの照明制御と、またその逆の制御も可能としています。



LEDスポットライト①② LEDブロードライト③



トラスバトン(Aスタジオ) 既設バトンにDMXとイーサネット™のコネクタを増設し、LEDスポットライト①②、LEDブロードライト③に対応。 LED水平ライトアップ④ローア⑤

主な掲載器具一覧					
設置場所		器具名 (品名)	形名	台数	備考
Aスタジオ	フロア	① LED スポットライト 6型フレネル ハロゲンスポット 500W ~ 1kW 置き換え	AL-LED-FSH6-L	35	消費電力:115W
		② LED スポットライト 8型フレネル ハロゲンスポット 1kW ~ 2kW 置き換え	AL-LED-FSG8-L	40	消費電力:246W
		③ LED ブロードライト ハロゲン 1kW 置き換え	AL-LED-BRHT-L	30	消費電力:228W
		④ LED アッパー・水平スポットライト 4色タイプ	AL-LED-UH-4L-C-2	100	消費電力:122W
		⑤ LED ロア・水平スポットライト 4色タイプ	AL-LED-LH-4L-2	36	消費電力:122W
		⑥ 調光操作卓 SmartConsole SC-30	—	1式	—
Bスタジオ	副調整室	⑦ 調光操作卓 SmartConsole SC-80	特注	1式	—
各調光室		インテリジェント調光器 他	PLUG-IN DIMSTAR Ⅲ 他	1式	—

※イーサネット™は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。